

立山・剣岳の花シリーズ 第11弾 「タムシバ」

「タムシバ」は高さが4～5mにもなる木で、春の山にはなくてはならない「花」である。花時花柄の基部に葉がないのが特徴である。
 可憐な白い花は、まだバックに残雪の残る頃にひときわ大きく目立ち、春の訪れを感じさせる。立山では、弥陀ヶ原の七曲りまでの一帯に多く見られる。
 剣岳では、馬場島一帯、特に「中山」の稜線の「タムシバ」は好きだ。
 名は、葉に芳香があり、葉を噛むと甘いので「カムシバ」が転化したという説がある。



このポイントが、ナイスが好きな「タムシバ」と剣岳の小窓尾根を撮影できる場所です。
 「中山」への稜線、遊歩道の中腹で撮影することができます。
 皆さんも、是非「タムシバ」の咲く頃の「春の馬場島」へどうぞ・・・

あまりにもすごい・・・



山全体が「タムシバ」



「タムシバ」の顔

青い空とぴったり・・・



「タムシバ」が群生しています。



「タムシバ」の顔

こんなに大きい「タムシバ」



「タムシバ」



「タムシバ」の顔



大猫山の稜線



剣岳と「タムシバ」



剣岳と「タムシバ」



大日岳と「タムシバ」



剣岳と「タムシバ」



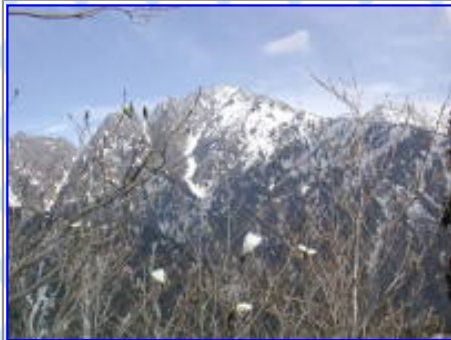
剣岳と「タムシバ」



剣岳と「タムシバ」



剣岳と「タムシバ」



大猫山からの途中の稜線では、「タムシバ」がたくさん見られます。残雪がある時で、ようやく、「剣岳」の顔が見ることができる状態なので、雪が溶けると、この稜線ポイントでは、ブッシュが多く、写真を撮影するには少し困難が生じます。

「タムシバ」の名所・・・「白山スーパー林道」の「三方岩岳」